

成果の説明書

(氏名)木暮律子	(学部)地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>【研究活動】</p> <p>①専門日本語教育のための基礎調査及び教材の作成：経済学・地域政策学分野に出現する漢字語彙の調査を行い、専門日本語教育のための漢字教材と聴解教材を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none">・『大学生活のための日本語 経済学・地域政策学の二字漢語』・『専門聴解 経済学・地域政策学を学ぼう』 <p>②遠隔環境におけるグループワークに関する調査</p> <p>「異文化コミュニケーション」の講義で実施した遠隔環境におけるグループワークについて調査し、学生の学びに関するデータの収集を行った。</p> <p>【教育活動】</p> <p>①留学生の日本語教育一元化の開始</p> <p>今年度より日本語教育の新カリキュラムを開始し、一元化に伴うクラス分けを実施するとともに、非常勤講師との連絡調整及び必修日本語6科目の統括を行った。</p> <p>②専門二字漢語の確認テストの実施</p> <p>経済学及び地域政策学で用いられる二字漢語の習得を目的とし、Formsを用いた確認テストを実施した。これまでは、紙媒体によるテスト形式であったが、今年度からオンラインで実施することにより、授業内で理解の定着を図れるようにした。</p> <p>③音読練習を通じた音声指導の実施</p> <p>留学生対象の「専門聴解」において、ディクテーションの後、録音した音読ファイルを提出してもらい、個別にフィードバックを行う音声指導を実施した。</p> <p>④アクティブ・ラーニングの実践</p> <p>「異文化コミュニケーション」の講義において、留学生と日本人学生によるグループワークを実施し、異文化間協働による大学紹介ポスターの作成等、実践的なトレーニングを行った。また、Formsによる課題の提出を通して受講生の理解度をはかり、授業展開にも反映させるよう努めた。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <ul style="list-style-type: none">・留学生アンケートの実施：新入留学生を対象に、入試情報の収集方法に関するアンケート調査を行い、大学情報の発信方法等、今後本学が取り組むべき課題を報告書にまとめた。・日本語部会の実施：前期は8月、後期は2月に日本語科目を担当する非常勤講師とともに部会を開催し、カリキュラムの検討や授業の振り返り、次年度に向けた課題の共有を行った。	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>今年度行った遠隔環境におけるグループワークの分析を進め、実践報告として論文にまとめる予定である。また、来年度は留学生の日本語教育一元化の完成年を迎え、新たに選択科目の「ビジネス日本語Ⅰ」がスタートする。今年度作成した教材を用いた専門日本語教育の方法について検討するとともに、引き続きカリキュラムの円滑な運営に努めていきたい。</p>	